

地域の宝マップ

岩泉町

宮古市

宮古市

【80】道の駅やまびこ館



お土産・産直コーナーのほか、フード関係も充実している

【77】川井あかしそ

【15】平津戸駅跡



かつては列車交換が可能で、蒸気機関車転車台もあった

【32】松草橋



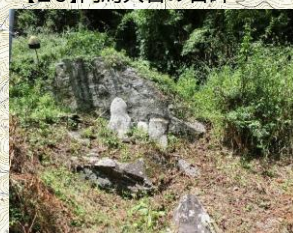
昭和12年にかけられた、長さ約10mの橋

【46】山祇神社



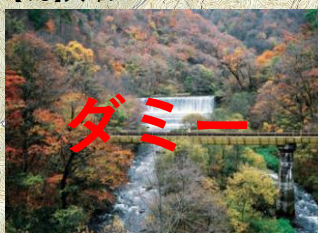
旧暦3月3日に神事を行い、演芸会などを催した

【26】門馬大岩の石碑



5つの石碑があり、有名な石工「亀次」の銘がある

【16】大峠ダム



ダムの周辺には旧宮古街道や豊かな植物群が残されている

【無】大峠の道供養碑



宮古街道随一の難所とされ改修時に石碑が建立された

【19】早池峰神社



早池峰山の登山道を管理する門馬別当のお社だった

【25】道供養碑

【3】門馬神楽

【29】貞任伝説・安倍穴

【23】古代の森

【22】アイオン沢

【21】早池峰山



修験道・登山客のメッカであり、多くの豊かな自然が残されている



【35】権現滝

落差30mの滝。過去には権現堂や祭事もあった



【37】松草の馬頭観音

牛や馬を供養するための石碑。3面になっている。

【4】田代蕎麦

【47】山祇神社のコメツガ

【48】念仏剣舞供養塔

【33】松草駅

【34】門馬出張所

【38】ハナヒョウタンボクの群落

【52】八重咲きオオヤマザクラ

【45】里程標



現在の国道106号が県道だった頃の距離を示す標識

盛岡市

盛岡市

盛岡市

花巻市

花巻市

宮古市

【59】兜明神岳



この地域のシンボリックな山。閉伊川の源流にもなっている

【41】キノコの森

【40】水源の森

【42】溪間水辺の森

【60】岩神山

【65】馬っこ広場

【61】かぶと清水

【66】赤松広場

【68】クザカイトンポポ

【62】見晴山

【69】不伐の森

【69】貞任伝説・安倍穴

【54】兜神社



かつての祭日にはチャグチャグ馬っこが多く参加したという

【51】去り石の大石



門馬の「4大名石」のうち、現存してる唯一の大石

盛岡市

【58】区界高原少年の家

【53】区界峠

【55】区界駅



標高774mで東北で一番高い場所にある駅となっている

【56】道の駅区界高原



お土産やフードコート、軽食コーナーなど【問合せ】TEL 0193-77-2266



モデルコース

◆おすすめコース(徒歩)

時間:3時間

↓【56】道の駅区界高原

↓【55】JR区界駅

↓【53】区界峠

↓【57】区界高原ウォーキングセンター

↓【54】兜神社

↓【56】道の駅区界高原

◆おすすめコース(登山)

時間:3時間

早池峰山北側登山道

↓3合目駐車場

↓【28】早池峰の碑

↓【27】5合目の標柱

↓【31】5合目の鳥居

↓3合目駐車場

◆おすすめコース(車)

時間:3時間

↓【56】道の駅区界高原

↓【54】兜神社

↓【51】去石の大石

↓【45】里程標

↓【46】山祇神社

↓【48】剣舞供養塔

↓【20】早池峰神社

↓【15】平津戸駅跡

↓【6】大峠(トンネル)

↓【80】道の駅やまびこ館

道の駅区界高原 (Tel.0193-77-2266)
区界高原ウォーキングセンター (Tel.0193-77-2216)
宮古市役所門馬出張所 (Tel.0193-77-2211)
道の駅やまびこ館 (Tel.0193-85-5011)

門馬区域「地域の宝」マップ

～北上山地の大自然に抱かれて～



兜明神岳（1,005m）

◆宮古市門馬地域について

門馬地域は、宮古市の最西端に位置し、西側から、区界、去石、田代、黒沢、松草、門馬、平津戸の各集落があり、東側は宮古市内の川内地域に接しています。

また、門馬地域は北上山地の最高峰「早池峰山」の北面を含み、盛岡との境に広がる区界高原とシンボリックな存在の「兜明神岳」を有します。その兜明神岳を源とする閉伊川、築川との分水界となる区界峠、旧宮古街道最大の難所といわれた大峠などがあります。北上山地特有の高山植物が自生しており、豊かな自然環境が残されています。

【宮古市文化財保存活用地域計画とは】

市内に点在する歴史や文化・風習を保護し後世に残していくため、地域の方々や市内外のみなさんと文化財を活用し地域の魅力を深めていく活動を展開していきたいと考えています。

このマップの問い合わせは宮古市教育委員会事務局文化課まで
〒027-0097 岩手県宮古市崎山1-16-1 ☎0193-65-7526

QR

↑マップの↑
詳細はこちら

◆区界高原と兜明神岳



区界高原

昭和22年に31戸の開拓団によって農地が開かれました。国道106号や山田線の駅も近いので、かつては兜明神岳山ろくのスキー場やスケート場がにぎわい、高原野菜の無人販売所も多く立ち並びました。

兜明神岳【59】

標高1,005m。兜に似ているのが名前の由来で、山頂の岩場は、早池峰山と同じ蛇紋岩からなります。地元では「兜山」と呼ばれ、親しまれています。

兜神社【54】

閉伊七社のひとつで、兜明神岳の南側のふもとにあり、鎌倉時代の閉伊氏の家臣・近能佐七郎親良を祀っています。牛馬の守護神ともされています



兜神社参道からみた兜明神岳



兜明神岳の山頂付近の岩場



兜神社

◆早池峰山(の北面)

早池峰山【21】

標高1,917m。北上山地の最高峰であり山岳信仰の霊山であるとともに、古くから農業・水・漁業・山の神として信仰されてきました。現在は日本百名山にも数えられ、貴重な高山植物の宝庫として人気の山です。



早池峰山北面と区界高原(兜明神岳から)

早池峰神社【19】

早池峰山への登拝路は四方にあり、東西南北それぞれの登山口に山伏がいて管理していました。北側を守る門馬別当は早池峰山の御山守を兼ねていて、江戸時代に「早池峰のひのき」と呼ばれたヒノキの生産管理を任されていた。門馬別当の使用していたお社が、現在の早池峰神社となっています。



早池峰山北側の旧登山道入り口



早池峰山北側5合目の鳥居

早池峰山5合目の鳥居【31】

信仰のための登山が主だった昭和の初めころまでは、この場所です心身を清め、新しい「わらじ」に履き替えて山頂を目指しました。5合目にある鳥居は昭和12年に山田町登山会が寄進したもの。資材運搬は地元民が請けおい、「土ざり」を使って現地まであげたそうです。5合目前後は比較的ゆるやかな河原が続き、「七里河原」と呼ばれ、魚止めの滝があります。

◆かわい木の博物館と希少植物



早池峰山北面アイオン沢付近のアカエゾマツ

アカエゾマツ【24】

(国指定天然記念物)
アカエゾマツは、おもに北海道の湿原、岩石地などに群生して分布しています。本州では早池峰山の北側、アイオン沢での自生が確認され、本種の生息地の南限となっています。
※かわい木の博物館分館6号「古代の森」から対岸のアカエゾマツの群生地を観察できます。

区界周辺の植物

区界高原の周辺では様々な希少種や固有種が観察できます。

クザカイトンポポ【68】

岩手県の固有種とされ岩手県レッドデータブックAランクとなっています。



◆花弁の中央が黒いのが特徴

オオヤマザクラ【52】

八重のオオヤマザクラは珍しく、濃いピンクが美しさを際立たせます。



◆地域では花見の名所

ハナヒョウタンボク【75】

水河期の残存植物。岩手県と長野県でのみ生育が確認されています。



◆特徴のある2つの実が名前の由来

かわい木の博物館【11】・【23】・【38】など

川井地域の豊かな自然と人々の生活や文化を結びつけ、自然をまるごと博物館とらえて調査の成果を活用し活動しています。全17ある分館のうち、門馬区域内には1号「不拔の森」、3号「水源の森」、6号「古代の森」、7号「景観の森」、12号「キノコの森」、16号「ハナヒョウタンボクの群落」、17号「溪間水辺の森」の9つがあります。入館には許可と案内人の同行が必要です。詳しくは【宮古市川井総合事務所】(TEL0193-76-2111)にお問合せください。

◆閉伊川の源流と災害

閉伊川

兜明神岳の山麓に水源をもち、早池峰山麓から流れ出る御山川など大小の支流を合わせ、山間部を東に蛇行しながら宮古湾で太平洋にそそぐ2級河川。溪流釣りの人気スポットでもあり、腹帯、鈴久名、川内の3つの水力発電所があります。

区界峠【53】

標高751m。東西方向に流れる閉伊川と築川の分水界にあたります。かつては宮古街道の交通の難所でしたが、昭和50年にトンネル化されました。現在は「区界道路」として整備され、県内最長となる「新区界トンネル」が令和2年に開通しています。

アイオン台風復旧記念碑【13】

アイオン台風は昭和23年9月に発生した台風で、前年のカザリン台風に続いて各地に大きな被害を与えました。アイオン台風の影響で、早池峰山の山麓では400ミリ近い豪雨となり、大洪水が発生しました。これによって早池峰山北面では山崩れが起り、出現したのがアイオン沢です。さらに山津波が起り、大量の土石流が閉伊川の河谷を埋め、押し出された大量の流木が御山川口や閉伊川の鉄橋につかえ、流れをせき止めました。せき止められた流れはさらに水量を増幅させ、橋脚を押し倒して一気に流れだし、流域の集落をはじめ、道路や線路に壊滅的な被害を与えました。

山田線の本格的な復旧は台風から6年後の昭和29年のことでした。アイオン台風で不通となった盛岡宮古港線の復旧工事が完成した記念に平津戸記念碑が建立されています。



復旧記念碑（平津戸）

◆自然と産業

川井赤しそ【77】

全国的にも珍しい、葉の表が緑色で裏が赤色という特徴を持つ在来種。国が地域ブランドとして保護しています。葉に厚みがあるため香りも発色も強く、「紀州南高梅」の原料に用いられています。ほどよい酸味のしそジュースは昔から家庭の味として作られていて、商品化された「かわいベリーラ」は地域の特産品となっています。



川井赤しそ



川井そば

旧川井村の田代と小国は標高が高い位置にあり、寒暖差が大きいため昔からソバの名産地として知られていました。現在は「門馬地区そば切り伝承の会」がソバ生産やそば打ち体験などを行って、ふるさとの大切な食文化の伝承活動を行っています。

体験：蕎麦打ち満喫(ソバ種まき、刈り取り、脱穀、ソバ切り体験)
問合せ：門馬地域協議会、門馬地域そば切り伝承の会



川井そば



木質バイオマス区界発電所【44】

平成26年稼働。未利用森林資源や工場残材を燃料として、1時間あたり5,800kwを発電。1年間の総発電量は一般家庭10,000世帯分に相当します。



黒沢にある木質バイオマス発電所

偉人・人

偉人・人